

# CASIO <sup>P</sup>

## 3288 \* JA

### 取扱説明書

#### 3288

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいますて、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
※ 本書に記載の製品イラストの中には、視認性を考慮して、実際のものとは異なる描写を行っているものがあります。ご了承ください。

## 安全上のご注意

### 絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

### 絵表示の例

 △記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。

 ○記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。

 ●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。
●本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

### 電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

## 注意

### お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしサビ易くなります。

### かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

### 分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

### ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはすすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはすすなど十分にご注意ください。

## ご使用上の注意

### ■防水性

●防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」[WATER RESISTANT]と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常 生活用 防水	5気圧 防水	10気圧 防水	20気圧 防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	フインドサーフィン	×	×	○	○
	スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等(石鹸・シャンプーなど)のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に濡したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2～3年を目安)なバッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字版などを破損する原因となります。

### ■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび(錆)などにより切れたり外れたりする場合があります、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換(有償)をお申し付けください。

#### ■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +80℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

#### ■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶついたりすると、故障の原因になります。ただし、衝撃撃構造の時計の場合(G-SHOCK/Baby-G/G-ms)は腕につけたままでもチェンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

#### ■磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

#### ■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

#### ■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

#### ■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

#### ■樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておく、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとし色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸取や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

## 天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておく、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
- ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

#### ■金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも濡れたままご使用になりますと、さび(錆)が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸水性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にがからないようにご注意ください。

#### ■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

#### ■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

# お手入れについて

### ■お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

### ■お手入れを怠ると

- さび(錆)
- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すまみに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、ごまめにお手入れしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

## 電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となります。
- 電池交換の際、防水検査を行います(防水検査は別途有償となります)。

#### ■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池(モニター用電池)は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

#### ■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

## 金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

# ライト点灯について

セット中(表示点滅)以外のどのモードのときでも、 ボタンを押すと、ライトが点灯します。
→暗いところでも、表示を見ることができます。



#### ■ご注意

- 直射日光下では、ライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどの電子音が鳴ると、点灯を中止します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

## ■ライト点灯時間の切替え

**1. セット状態にする**
時刻モードのとき、

 ボタンを約1秒間押し続けます

→秒が点滅します。

**2. 点灯時間を選ぶ**

 ボタンを押します

→ ボタンを押すごとに約1.5秒間と約3秒間が切り替わります。

※ マーク=約1.5秒間

※ マーク=約3秒間

**3. セットを終わる**

 ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

# 操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音のON／OFFを切り替えることができます。

## ■操作音のON／OFF設定

セット中(表示点滅)以外のどのモードのときでも、

 ボタンを約3秒間押し続けます

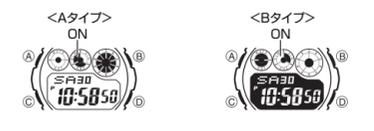
→確認音が鳴り、操作音のON／OFFが切り替わります。

※操作音をOFFにしているときは、MUTEマークが点灯します。

※操作音がOFFでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。

## 液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。なお、本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、本書に記載しているイラストの黒い部分(「時刻」、「機能」がONになっているときに点灯するマーク)などが、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。
※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。



# 製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：平均月差± 30秒以内

基 本 機 能：時・分・秒
午前／午後(P) / 24時間制表示、日・曜日
フルオートカレンダー(2000～2099年)
サマータイム設定機能

ワールドタイム機能：世界48都市(29タイムゾーン)の時刻を表示
サマータイム設定機能

ストップウォッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝59分59秒99(60分計)
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

タイマー機能：セット単位＝1分、計測範囲＝24時間、計測単位＝1秒、電子音＝10秒、タイムアップを10秒間の電子音で報知

アラーム機能：時刻アラーム
セット単位＝時・分、電子音＝10秒間、通常アラーム＝4本、スヌーズアラーム＝1本

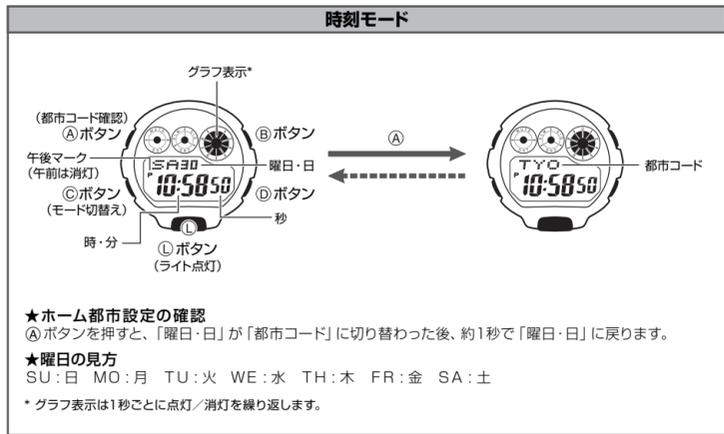
時報 毎正時に2回電子音で報知

そ の 他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替え、ELバックライト、ライト点灯時間切替え、モニターアラーム、操作音ON/OFF切替え

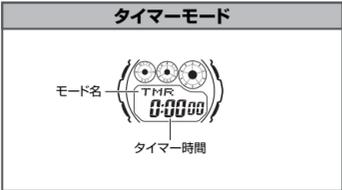
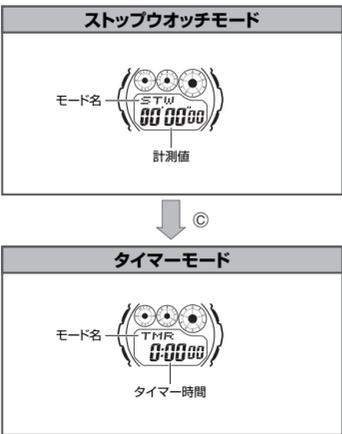
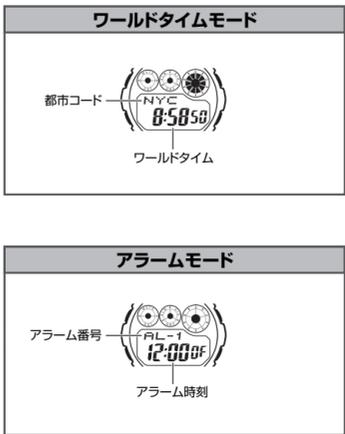
使 用 電 池：CR1616 1個(電池別途販売)
電 池 寿 命：約3年(1日あたりライト1.5秒間、電子音10秒間使用した場合)

# 操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。  
アラームモードのまま2～3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。



- ★ホーム都市設定の確認  
A ボタンを押すと、「曜日・日」が「都市コード」に切り替わった後、約1秒で「曜日・日」に戻ります。
- ★曜日の見方  
SU:日 MO:月 TU:火 WE:水 TH:木 FR:金 SA:土
- ・グラフ表示は1秒ごとに点灯/消灯を繰り返します。



# ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたい◎ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市(29タイムゾーン)の時刻を簡単に知ることができます。  
※ワールドタイムモードに切り替えると、前回のモードで最後に見た都市の時刻を表示します。  
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。  
※ホームタイム(基本時刻)を24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

■ご注意  
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホーム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。  
\*確認については「操作のしくみと表示の見方」参照、セットについては「時刻・日付の合わせ方」参照。

## ■都市の選択

ワールドタイムモードのとき、  
◎ または ◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに1つずつ進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。  
※◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。



## ■サマータイム(DST)について

サマータイムとはDST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

## ■サマータイムのON/OFF設定

準備:ワールドタイムモードのとき、◎ または ◎ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

- ◎ ボタンを約1秒間押し続けます  
→サマータイムのON/OFFが切り替わります。  
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。  
※都市ごとにサマータイムを設定することができます。  
※ホームタイムで設定している都市をサマータイムONにしたときは、ホームタイム(基本時刻)もサマータイムONになります。



## ■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	-11	パゴパゴ	IST	+2	イスタンブール
HNL	-10	ホノルル	CAI	+2	カイロ
ANC	-9	アンカレジ	JRS	+2	エルサレム
YVR	-8	バンクーバー	MOW	+3	モスクワ
SFO	-8	サンフランシスコ	JED	+3	ジェッダ
LAX	-8	ロサンゼルス	JHR	+3.5	テヘラン
DEN	-7	デンバー	DXB	+4	ドバイ
MEX	-6	メキシコシティ	KBL	+4.5	カブール
CHI	-6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
MIA	-5	マイアミ	MLE	+5	マレー
NYC	-5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
*CCS	-4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
YYT	-3.5	セントジョンズ	RGH	+6.5	ヤンゴン
RIO	-3	リオデジャネイロ	BKK	+7	バンコク
RAI	-1	フライア	SIN	+8	シンガポール
LIS	0	リスボン	HKG	+8	香港
LON	0	ロンドン	BJS	+8	北京
BCN	+1	バルセロナ	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
MIL	+1	ミラノ	ADL	+9.5	アデレード
ROM	+1	ローマ	GUM	+10	グアム
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
JNB	+2	ヨハネスブルグ	WLG	+12	ウエリントン

※この表は2010年12月現在作成のものです。  
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。  
※各国の時差およびサマータイムは国の都合により変更されることがあります。  
\*2007年12月にCCS(カラカス)の時差が「-4.5」に変更になっていますが、本機では対応しておりません。「時差-4の地域」としてご使用ください。

# アラーム・時報の使い方

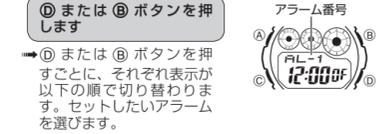
「操作のしくみと表示の見方」にしたい◎ ボタンを押し、アラームモードにします。

## ■アラームについて

- 通常アラーム(AL1~AL4)  
設定した時刻になると10秒間の電子音が鳴ります。
- スヌーズアラーム(SNZ)  
設定した時刻になると10秒間の電子音が鳴り、5分おきに合計7回音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

## ■アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ  
アラームモードのとき、



## 2. セット状態にする

- ◎ ボタンを約1秒間押し続けます  
→「時」が点滅します。  
※アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

## 3. セット箇所を選ぶ

- ◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

## 4. 点滅箇所のセット

- ◎ または ◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに1つずつ進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。  
※◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順3.~4.の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前/午後(P)、または24時間制にご注意ください。  
※ホームタイム(基本時刻)を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

## 5. セットを終わる

- ◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに、アラームのON/OFFが切り替わります。  
※アラームマークが点灯しているときにONとなり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

## ■アラームのON/OFF設定

準備:アラームモードのとき、◎ または ◎ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

- ◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに、アラームのON/OFFが切り替わります。  
※アラームマークが点灯しているときにONとなり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。



## ■鳴っている電子音を止めるには

- いずれかのボタンを押すと、音が止まります。  
※スヌーズアラームのときは、約5分後に再び鳴り出します(スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します)。  
※スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行いますと、スヌーズアラーム機能が中断されます。
  - スヌーズアラームをOFFに切り替えます
  - スヌーズアラームをセット状態にしたとき
  - 時刻モードでセット状態にしたとき

## ■モニターアラーム

アラームモードで◎ ボタンを押し続けると、押しの間、電子音が鳴ります。

## ■時報について

毎正時(00分のとき)に「ピピッ」と電子音を鳴らすことができます。

## ■時報のON/OFF設定

準備:アラームモードのとき、◎ または ◎ ボタンを押して、時報表示を選びます。

- ◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに、時報のON/OFFが切り替わります。  
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



# ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99(60分計)まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

## ■計測のしかた

- ストップウォッチモードのとき、  
◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。  
※グラフ表示は計測値に連動して、点灯/消灯を繰り返します。



- ★計測中に◎ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります(「SPL」表示)。  
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。  
★計測終了後◎ ボタンを押すと、計測値が0に戻ります(リセット)。

- 通常計測  
スタート → ストップ → リセット
- <積算計測>  
ストップ後リセットせずに◎ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。
- スプリットタイム(途中経過時間)の計測  
スタート → スプリット → スプリット解除 → ストップ → リセット
- <スプリット表示中>  
「SPL」表示  
スタート → 1着ゴール(1着タイム表示) → 2着ゴール → 2着タイム表示 → リセット
- 1・2着同時計測  
スタート → 1着タイム表示 → 2着タイム表示 → リセット

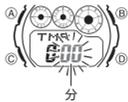
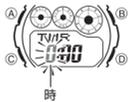
# タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたい◎ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過(タイムアップ)すると、10秒間電子音が鳴ります。

## ■タイマー時間のセット

- セット状態にする  
タイマーモードのとき、  
◎ ボタンを約1秒間押し続けます  
→「時」が点滅します。
- セット箇所を選ぶ  
◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。
- 点滅箇所のセット  
◎ または ◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに1つずつ進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。  
※◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。



手順2.~3.の操作を繰り返して、タイマー時間をセットします。

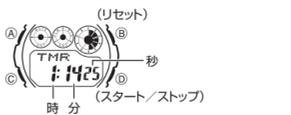
※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を「0:00」にします。

## 4. セットを終わる

- ◎ ボタンを押します  
→点滅が止まり、セット完了です。  
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

## ■タイマーの使い方(減算計測のしかた)

- タイマーモードのとき、  
◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。  
※計測は1秒単位で行います。  
※グラフ表示は計測値に連動して、点灯/消灯を繰り返します。



- ★計測ストップ後◎ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります(リセット)。  
★◎ ボタンでストップ後、もう一度◎ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

## ■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

## ■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

# 時刻・日付の合わせ方

以下の操作は時刻モードで行います。

## ■「時刻・日付」合わせ

- セット状態にする  
時刻モードのとき、◎ ボタンを約1秒間押し続けます  
→「秒」が点滅します。
- ホーム都市を選ぶ  
◎ ボタンを押します  
→都市コードが点滅します。  
◎ または ◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに都市コードが進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。「(都市コード一覧)参照」。  
※◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。

## 3. サマータイム(DST)のON/OFFを選ぶ

- ◎ ボタンを押します  
→DSTマークとOnまたはOFが点滅します。  
◎ ボタンを押します  
→ON/OFFが切り替わります。  
※OF=サマータイムOFF(通常時間)  
On=サマータイムON(夏時間)  
※サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まり、時刻モードとアラームモードでDSTマークが点灯します(サマータイムについては「サマータイム(DST)について」参照)。

## 4. 「時刻・日付」合わせ

- ◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。
- ◎ または ◎ ボタンを押します  
→◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。  
※◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。

a.~b.の操作を繰り返して、時刻・日付を合わせます。

- ※12/24時間制表示切替は、◎ ボタンを押すごとに12時間制表示(12H)と24時間制表示(24H)が切り替わります。
- ※「時」のセットのとき、午前/午後(P)、または24時間制にご注意ください。
- ※「年」は2000~2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が出されます。なお、カレンダーはうるう年、大の月および小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

## 5. セットを終わる

- ◎ ボタンを押します  
→点滅が止まり、セット完了です。  
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。